

イワヒラタカゲロウ

Epeorus cumulus

兵庫県：要注目

環境省：

種の概要

幼虫は腹部背面中央部に1列の突起を持たず、第1腹節の左右の葉状鰓は小さく腹面で接することはなく、葉状鰓に赤紫褐色の斑点がなく、尾毛の背面に長毛列がないことで同属の他種から区別される。山地源流域に生息し、幼虫は流水からいくぶん離れた飛沫帯に見られる。成虫は6月～12月に羽化する。



写真提供：稲田和久

国内分布

本州

県内分布記録

養父市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○			



特記事項

新規追加種

山地溪流に生息しているが、調査不十分のため、不明な点が多い。

保護上の留意点